



企業経営動向調査による景況感の現状および見通しについて

(平成29年9月実施)

百十四銀行（頭取 綾田裕次郎）では、香川県内民間企業の景況感を把握するため、下記要領にてアンケート調査を実施し、その調査結果をまとめましたのでお知らせします。

【調査要領】

調査対象	香川県内に本社または主工場をもつ企業：253社
調査方法	郵送によるアンケート方式
調査時期	平成29年9月9日～平成29年10月5日
回答状況	有効回答企業数：165社 有効回答率：65.2%

調査委託先 一般財団法人 百十四経済研究所

香川県内企業経営動向調査による景況感の現状および見通しについて (平成 29 年 9 月実施)

～ 県内企業の景況感、2 期ぶりに悪化も、来期は改善の見通し ～

1. 全体の概況

今期（平成 29 年 7～9 月期）の香川県内企業の業況判断指数（BSI）は、季節的な需要の減少などを背景に 2 期ぶりに低下した。製造業では 2 期連続の上昇となった一方、非製造業では 2 期ぶりの低下となった。来期（29 年 10～12 月期）は、季節的な需要の増加などにより、製造業が 3 期連続、非製造業が 2 期ぶりに指数は上昇する見通しである。

2. 現状(平成 29 年 7～9 月期の実績)

今期（平成 29 年 7～9 月期）の BSI は、 $\Delta 10.9$ となり、前期（29 年 4～6 月期）実績の $\Delta 10.2$ から 0.7 ポイント低下した。前年同期（28 年 7～9 月期）実績の $\Delta 11.8$ に対し、0.9 ポイント上回る水準である。産業別では、製造業が $\Delta 16.9$ となり、前期実績の $\Delta 17.4$ から 0.5 ポイント上昇した。非製造業は、 $\Delta 4.9$ となり、前期実績の $\Delta 2.5$ から 2.4 ポイント低下した。

■ 今期業種別業況判断指数の増減状況(対前期)

<製造業>

上昇：①食料品、②繊維製品、③木材・木製品、④金属製品、⑤輸送用機械器具

不変：－

低下：①化学工業・石油製品、②機械器具、③その他製造業

<非製造業>

上昇：①建設業、②卸売業

不変：－

低下：①小売業、②運輸業、③サービス業その他

3. 見通し(平成 29 年 10～12 月期の見通し)

来期（平成 29 年 10～12 月期）の BSI の見通しは、0.0 となり、今期（29 年 7～9 月期）実績の $\Delta 10.9$ から 10.9 ポイント上昇する見通しである。前年同期（28 年 10～12 月期）実績の $\Delta 9.3$ に対し、9.3 ポイント上回る水準である。産業別では、製造業が 0.0 となり、今期実績の $\Delta 16.9$ から 16.9 ポイント上昇した。非製造業は、0.0 となり、今期実績の $\Delta 4.9$ から 4.9 ポイント上昇した。

■ 来期業種別業況判断指数の増減状況(対今期)

<製造業>

上昇：①食料品、②木材・木製品、③化学工業・石油製品、④金属製品、⑤機械器具
⑥その他製造業

不変：①繊維製品、②輸送用機械器具

低下：－

<非製造業>

上昇：①小売業、②運輸業、③サービス業その他

不変：①建設業、②卸売業

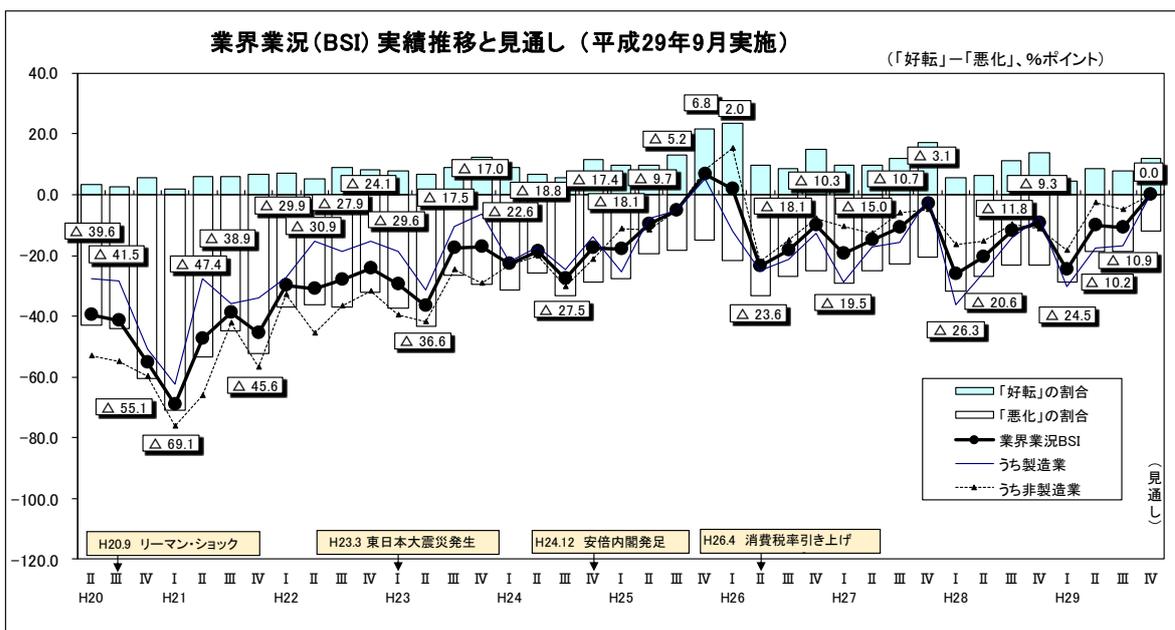
低下：－

【集計結果資料】

業界業況(BSI)の実績推移と見通し

()内は前回調査時の見通し

期	平成28年				平成29年			
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
製造業	(△ 25.6)	(△ 15.0)	(△ 9.8)	(△ 5.1)	(△ 20.0)	(△ 20.5)	(△ 15.1)	(0.0)
	△ 36.3	△ 25.6	△ 14.1	△ 7.5	△ 30.1	△ 17.4	△ 16.9	
非製造業	(△ 15.0)	(△ 12.5)	(△ 12.8)	(△ 4.8)	(△ 18.5)	(△ 7.9)	(△ 1.3)	(0.0)
	△ 16.3	△ 15.4	△ 9.6	△ 11.1	△ 18.4	△ 2.5	△ 4.9	
全産業	(△ 20.4)	(△ 13.8)	(△ 11.3)	(△ 5.0)	(△ 19.3)	(△ 14.5)	(△ 8.4)	(0.0)
	△ 26.3	△ 20.6	△ 11.8	△ 9.3	△ 24.5	△ 10.2	△ 10.9	
前年同期比(差異)	△ 6.8	△ 5.6	△ 1.1	△ 6.2	1.8	10.4	0.9	(9.3)



■業界業況判断指数 (各期比較)

業種	実績値					増減			
	今期の前年同期	来期の前年同期	前期	今期	来期	今期(H29.7-9月)		来期(H29.10-12月)	
	(H28.7-9月)	(H28.10-12月)	(H29.4-6月)	(H29.7-9月)	(H29.10-12月)	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
	①	②	③	④	⑤	④-③	④-①	⑤-④	⑤-②
製造業	△ 14.1	△ 7.5	△ 17.4	△ 16.9	0.0	0.5	△ 2.8	16.9	7.5
食料品	△ 6.7	5.6	△ 27.8	△ 23.5	11.8	4.3	△ 16.8	35.3	6.2
繊維製品	△ 30.0	△ 25.0	△ 40.0	△ 33.3	△ 33.3	6.7	△ 3.3	0.0	△ 8.3
木材・木製品	16.7	0.0	△ 28.6	△ 16.7	16.7	11.9	△ 33.4	33.4	16.7
化学工業・石油製品	△ 16.7	△ 16.7	△ 14.3	△ 28.6	0.0	△ 14.3	△ 11.9	28.6	16.7
金属製品	△ 20.0	△ 30.0	△ 10.0	0.0	10.0	10.0	20.0	10.0	40.0
機械器具	△ 18.2	△ 16.7	9.1	△ 8.3	0.0	△ 17.4	9.9	8.3	16.7
輸送用機械器具	△ 20.0	△ 20.0	△ 40.0	△ 20.0	△ 20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
その他	△ 13.3	14.3	△ 5.6	△ 11.8	0.0	△ 6.2	1.5	11.8	△ 14.3
非製造業	△ 9.6	△ 11.1	△ 2.5	△ 4.9	0.0	△ 2.4	4.7	4.9	11.1
建設業	21.4	△ 7.1	△ 7.7	0.0	0.0	7.7	△ 21.4	0.0	7.1
卸売業	△ 33.3	△ 17.6	△ 5.3	0.0	0.0	5.3	33.3	0.0	17.6
小売業	0.0	△ 9.1	10.0	4.8	14.3	△ 5.2	4.8	9.5	23.4
運輸業	△ 22.2	△ 25.0	△ 22.2	△ 33.3	△ 22.2	△ 11.1	△ 11.1	11.1	2.8
サービス業 その他	△ 15.8	△ 5.0	0.0	△ 10.0	△ 5.0	△ 10.0	5.8	5.0	0.0
合計	△ 11.8	△ 9.3	△ 10.2	△ 10.9	0.0	△ 0.7	0.9	10.9	9.3

【参考】その他各種判断指数

項目別	選択肢	平成28年				平成29年 (見通し)			
		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
受注高判断	(増加・不変・減少)	△ 16.3	0.0	7.7	21.3	△ 22.9	7.0	3.6	28.9
生産高判断	(増加・不変・減少)	△ 18.8	2.4	11.5	20.0	△ 19.3	11.6	6.0	22.9
売上高判断	(増加・不変・減少)	△ 5.6	△ 1.9	9.9	22.4	△ 15.7	△ 0.6	8.5	24.8
在庫高判断	(増加・不変・減少)	△ 1.9	13.1	2.5	10.6	△ 6.3	2.4	3.0	9.1
資金繰り判断	(好転・不変・悪化)	0.0	3.1	4.3	5.0	△ 3.1	4.2	0.6	△ 2.4
銀行借入判断	(増加・不変・減少)	△ 1.9	2.5	1.9	△ 12.4	△ 6.9	△ 5.4	1.2	△ 9.7
設備投資判断	(増加・不変・減少)	13.8	5.0	15.5	9.3	10.7	7.8	15.2	9.1
雇用状況判断	(増加・不変・減少)	9.4	17.5	0.6	0.6	△ 5.7	25.3	△ 1.2	7.3
採算判断	(好転・不変・悪化)	△ 3.8	△ 3.1	4.3	10.6	△ 16.4	1.8	△ 5.5	2.4

4. 経営上の問題点

「経営上の問題点」の推移

平成28年/10~12月期			平成29年/1~3月期			平成29年/4~6月期			平成29年/7~9月期		
順位	項目	構成比	順位	項目	構成比	順位	項目	構成比	順位	項目	構成比
1	求人難	20.0%	1	求人難	22.3%	1	求人難	21.1%	1	求人難	25.1%
2	販売(受注)不振	15.6%	2	販売(受注)不振	14.0%	2	設備老朽化	16.0%	2	設備老朽化	15.2%
3	設備老朽化	15.3%	3	設備老朽化	13.8%	3	過当競争	14.1%	2	過当競争	15.2%
3	過当競争	15.3%	4	過当競争	13.2%	4	販売(受注)不振	13.1%	4	販売(受注)不振	13.2%
5	製品(販売)安	12.1%	5	製品(販売)安	11.0%	5	製品(販売)安	11.7%	5	製品(販売)安	9.9%
6	原材料(仕入)高	10.0%	6	原材料(仕入)高	10.7%	6	原材料(仕入)高	10.4%	5	原材料(仕入)高	9.9%
7	賃金上昇	6.5%	7	賃金上昇	8.8%	7	賃金上昇	7.7%	7	賃金上昇	6.8%
8	環境対応	1.5%	8	環境対応	2.2%	8	設備不足	1.9%	8	環境対応	1.7%
8	設備不足	1.5%	8	その他	2.2%	9	環境対応	1.1%	9	設備不足	0.8%
10	その他	0.9%	10	金利負担増	0.8%	9	その他	1.1%	9	その他	0.8%
10	回収条件の悪化	0.9%	11	設備不足	0.3%	11	借入れ難	0.8%	11	借入れ難	0.6%
12	金利負担増	0.6%	11	回収条件の悪化	0.3%	12	金利負担増	0.5%	12	金利負担増	0.3%
13	借入れ難	0.0%	11	借入れ難	0.3%	13	設備過剰	0.3%	12	設備過剰	0.3%
13	設備過剰	0.0%	14	設備過剰	0.0%	13	回収条件の悪化	0.3%	12	回収条件の悪化	0.3%

業種別回答数及び構成比

企業経営動向調査概要	
① 調査時期	平成29年9月9日～10月5日 (毎年3・6・9・12月実施)
② 調査事項	受注高、生産高、売上高、在庫高、資金繰り、銀行借入、設備投資、雇用、採算、業界業況の各項目別BSI、売上高の増加・減少要因、設備投資目的、経営上の問題点
③ 調査方法	景況感についての調査 前期(平成29年4~6月)と比較した今期(平成29年7~9月)の実績及び今期(平成29年7~9月)と比較した来期(平成29年10~12月)の見通しを調査。
④ 調査対象	県内に本社または主工場を持つ主要企業253社
⑤ 有効回答率	65.2% (有効回答数165社)

業種	回答社数	構成比
製造業	83	50.3%
食料品	17	10.3%
繊維製品	9	5.5%
木材・木製品	6	3.6%
化学工業・石油製品	7	4.2%
金属製品	10	6.1%
機械器具	12	7.3%
輸送用機械器具	5	3.0%
その他	17	10.3%
非製造業	82	49.7%
建設業	14	8.5%
卸売業	18	10.9%
小売業	21	12.7%
運輸業	9	5.5%
サービス業 その他	20	12.1%
合計	165	100.0%

企業経営動向調査について

BSIとは

Business Survey Index の略で、企業動向の現状と先行き見通しに対する企業経営者の判断を数字であらわした指数。次の算式により求める。

$$BSI = X - Y \quad X = \text{「好転（増加）」と回答した企業の割合（百分率）}$$

$$Y = \text{「悪化（減少）」と回答した企業の割合（百分率）}$$

※回答は、①好転（増加）、②不変、③悪化（減少）から1つ選択

季節的変動要因

当アンケート調査は、調査月を含む直前3か月実績と調査月の翌月からの3か月見通しについて、その直前の3か月と比較することから、一般的には、年間の閑散月2月、8月を含む1～3月期と7～9月期にはBSIが低下し、逆に4～6月期と10～12月期は、上昇する傾向がある。

（百十四経済研究所 中野）